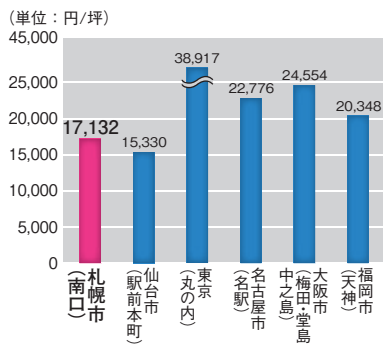


集積が進む産業支援サービス業

国内主要都市と比較して低廉なオフィス賃料や人材確保が容易等好条件

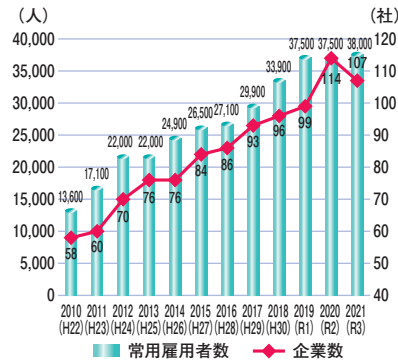
近年、コールセンターや本社機能の一部を道内で札幌を中心に立地する企業が増えています。北海道は時給、オフィス賃料が国内主要都市よりも低く、首都圏等との同時被災リスクの低さといった立地環境が整っています。また、コールセンターを立地検討している企業にとっては、北海道はなまりや方言が少なく標準語に近いため、コールセンターの立地には最適です。札幌市内のコールセンター・バックオフィス企業は114社、従業員数は37,500人に拡大しています。

■オフィス賃料比較(200坪以上2021(令和4)年3月末現在)



(出典：三幸エステート(株))

■コールセンター・バックオフィス雇用状況



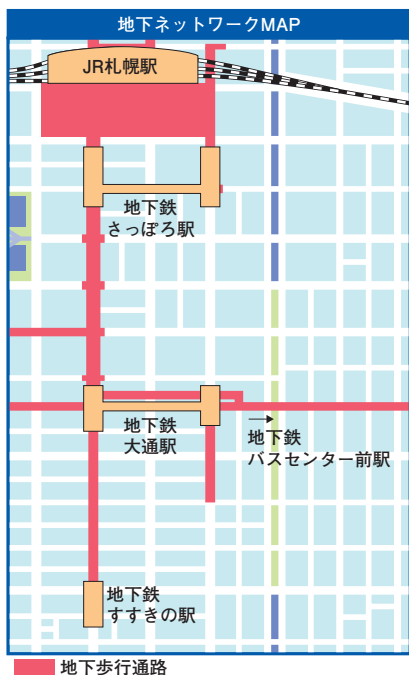
●常用雇用者:雇用保険、健康保険、厚生年金に加入する雇用者。(雇用者数から、短時間のパート・アルバイトを除いたもの)

(出典:札幌市)

■コールセンターの拠点数(2019(令和元)年8月現在)

1	北海道	119
2	沖縄県	103
3	福岡県	79
4	宮崎県	56
5	青森県	47
6	宮城県	45
7	長崎県	29
8	熊本県	20
9	新潟県	17
10	佐賀県	15

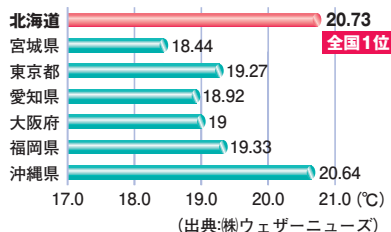
※東京都、京都府、大阪府、埼玉県、愛知県を除く(リックテレコム「コールセンター白書2019」)



快適な札幌への通勤・オフィス環境

郊外から札幌駅までは各種公共交通機関が便利で、オフィス街の中心地である札幌駅からすすきのまでの南北1,700mの地下通路の整備により、天候に左右されないドアツードアの通勤が可能です。また、冬の部屋の温度は全国1位で、夏は涼しく、冬は暖かい快適な職場で仕事ができます。

■冬の部屋の温度



(出典:株式会社ウエザーニューズ)

	地下鉄の運行本数(平日・1日あたり)	その他の公共交通
札幌市	994本	JR、バス、市電
仙台市	634本	JR、バス
福岡市	825本	JR、バス



平成23年3月に開通した地下歩行空間



本社機能のバックアップ拠点として注目される北海道

アフラック(札幌市)

アフラックは、東日本大震災の経験を踏まえ、事業継続計画を見直し、リスク分散の観点から自社システム(契約管理、販売支援、コーポレート、コンタクトセンター等のシステム)を開発する部門の一部を札幌に新たに設置することで、業務の分散を図ることとしたものです。同社に対し道では、生活情報や人材確保に向けたハローワーク等への情報提供を行うなど、札幌市との連携を図りながら誘致活動を行った結果、「札幌システム開発オフィス」の設置が決定されました。札幌システム開発オフィスは、東京エリアにあるシステム開発部門が災害等で機能不全になった場合でも、同社の事業継続に必要なシステム開発を継続できるよう、東京からの異動と現地雇用により人員体制を整え、2016(平成28)年4月1日より業務を開始しました。